

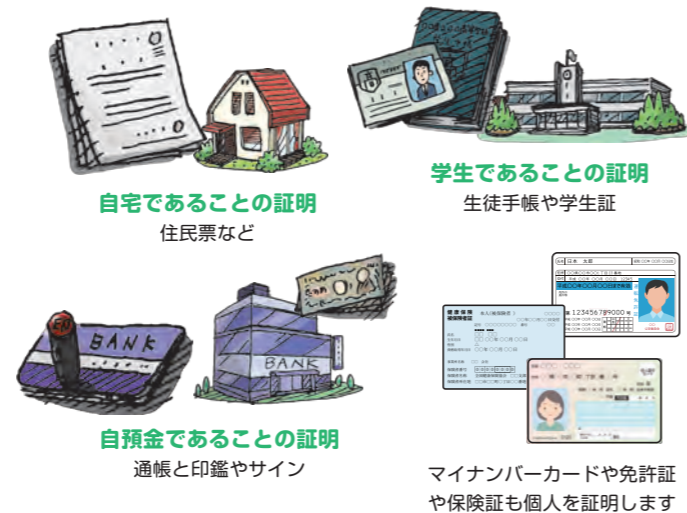
8 使うときには「私は私」という証明が必要?

8. 使うときには「私は私」という証明が必要?

ブログやSNSからネットショップまで、ネットを利用するためには「ログイン」=「個人認証」を求められることがほとんどです。その方法や危険性について知っておきましょう。

認証とは

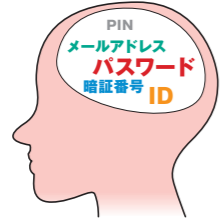
不正利用や間違いを防ぐため、本人しかわからないことや、本人しか持っていないものを示すことを、「個人認証」といいます。



間違いなく本人であることを確かめる手続き → **個人認証**

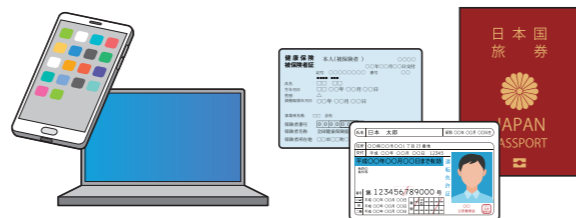
1 知識認証

本人だけが知っている情報を示すことです。「パスワード」や「秘密の質問」などは知識認証の一種です。



2 所有物認証

本人だけが持っているものを示すことです。「運転免許証」や「パスポート」の提示は、ネット以外の世界でもよく使われています。



3 生体認証

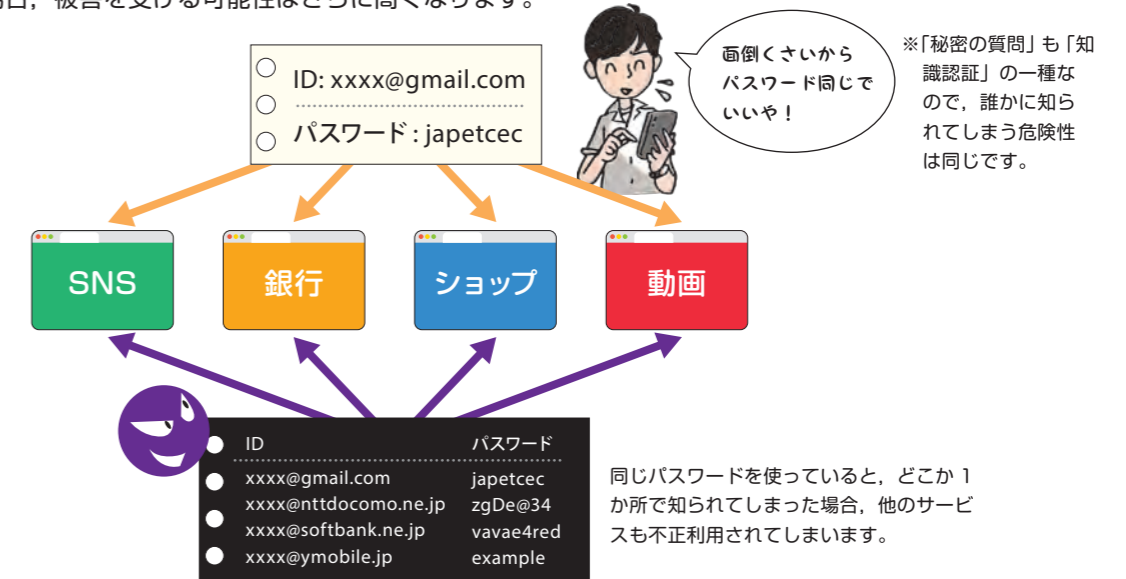
本人の身体に由来する、変えられないものを示すことです。「指紋」や「掌の静脈」などのほか、文字のクセを示す「署名」も生体認証の一種です。



2種類以上の認証を組み合わせることを「多要素認証」といいます。例えば、銀行でお金を引き出すときは、キャッシュカード(=所有物)と暗証番号(=知識)という2つの要素を示す必要があります。

同一パスワードの危険性

ほとんどのネットサービスは、IDとパスワードという「知識認証」だけで個人を認証しています。「知識」を誰かに知られてしまうと、簡単に「乗っ取り」や「なりすまし」されてしまいます。特に、複数のサービスで同じパスワードを使っている場合、被害を受ける可能性はさらに高くなります。



さらに... セキュリティが弱いサイトや悪意あるサイトに情報を入力してしまうと、悪徳業者などに知られてしまう可能性があります。

安全で簡単なパスワードの作り方

- W = わたしの
- h = 母は
- 5 = 5月
- 19 = 19日
- u = 生まれ
- D = で
- / = す

好きな言葉や小説、映画のタイトルなど、やや長い言葉を区切って作ると簡単です。

Yから始まるサイトなら **Yy**Wh519uD/
Gから始まるサイトなら **Gg**Wh519uD/

このように**アレンジ部分**を加えれば、たくさんのサイトを使っていても忘れにくいです。

秘密の言葉はヒミツにならない



母親の旧姓やペットの名前など、SNSのプロフィール等から判明するデータは秘密にできない。母親の旧姓をわざと自分の名前にしておくなど、違う答えにしておくもよい。

わかりやすいパスワードを設定していると、他の人から推測されたりする危険が高くなります。

SMS認証

※SMS=ショートメッセージサービス
携帯電話番号宛にメッセージが送れるサービスのことで。

携帯電話番号に送った認証コードを入力してログインする、という認証の仕組みです。電話番号(=知識)と携帯電話(=所有物)を組み合わせた「2要素認証」なので、安全性は高くなります。ただし、携帯電話やスマートフォンを落としてしまうと、本人でもログインできなくなってしまうなどの危険があります。



認証に使われるものは他にどのようなものがあるか調べてみましょう